

# フックコール TFC-110

## クレーン用警報装置 取扱い説明書

お客様へ

◎ お願い

- ※落下防止ワイヤーやねじの緩みがないか等の定期点検は必ず行ってください。
- ※仕様、外観、型名は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ※カタログと実際の商品の色は多少異なる場合があります。
- ※仕様書の内容で判らないことがありましたら弊社宛にお問い合わせください。
- ※取り付けは、配線を確認後に電源を入れてください。故障の原因になることがあります。
- ※使用しない時は（夜間など）はフックコール本体の電源を切ってください。
- ※

## 目次

1	概要・特徴	2
2	安全上の注意	2
3	仕様	3
4	操作項目と動作	
4-1	送信機	4
4-2	フックコール	5
4-3	動作	5
5	機器構成	7
6	取り付け・配線	8
7	充電	11
8	無線機	11
9	メッセージ	12
10	故障かなと思う前に	13

※ TFC-110 本体のバッテリー交換用ふたの開閉用パッチン錠は上部の開閉方式主流ですが、一部前面についでるタイプがございます。

※ TFC-110 本体の無線機の音量はボンドで固定してあり回りません。  
無理に外して音量を可変すると受信しなくなる場合があります。

## 1 【概要】

フックコールは建築現場のクレーンの安全作業に欠かすことのできない(準必需品)ものとなりつつあります。吊荷下の作業員の安全確保、作業時間の短縮等、監視カメラ・ハンドフリー無線機と併用することにより、作業性が向上します。

本フックコールは、クレーン作業時により安全に作業していただくために開発されたシステムです。

クレーンフック側に取り付けられたフックコール本体と操作室側の操作機により、オペレーターから「警報」「拡声」「BGM」などをフック側の作業員に伝える装置です。

### 1-1 【特徴】

クレーンのフック部に無線機とアンプが一体になったフックコールをワイヤーに取り付けます。充電式のバッテリーで2日間(8時間日・使用頻度により異なります。)使用可能です。アンプはデジタルアンプを採用し、消費電力を抑えた回路設計で受信時にアンプが動作するよう待機電流を考慮。

バッテリーの交換は上部の蓋を開けやすいようロック式パッチン錠を採用。

運転室にてアンプ出力以外マイクでの拡声も可能にしたアンプ装置です。

無線機の周波数は11チャンネルで容易に変更可能です。

本体の取り付けはUボルトで容易に取り付け取り外し可能な構造とし、従来品よりも小型で、ジブクレーンから油圧クレーンにも簡易に取り付けられる製品を、とのコンセプトで開発された商品です。

なお、内蔵バッテリーを使用しないで、ケーブルクレーン等にも対応できる高出力タイプもご用意してございます。

※ 無線は、特定小電力で無線の資格は不要です。

## 【安全上のご注意】

### 2 ~必ずお読みください~

分解や改造をしないでください。

水や海水などにつけたり、雨の日に取り付けたりしないでください。

当社指定以外の電源を使用しないでください。

指定以外のオプションを使用しないでください。

強い衝撃を加えたり、乱暴に扱わないでください。

クレーン用以外の使用はしないでください。

落下防止ワイヤーは必ず取り付けてください。

機器の設置は必ず電源をOFFにしてから作業してください。

無線機は見通しの良い場所に設置してください。

操作機は室内使用です。窓をあけての使用は雨や水のかからないようにとりつけてください。

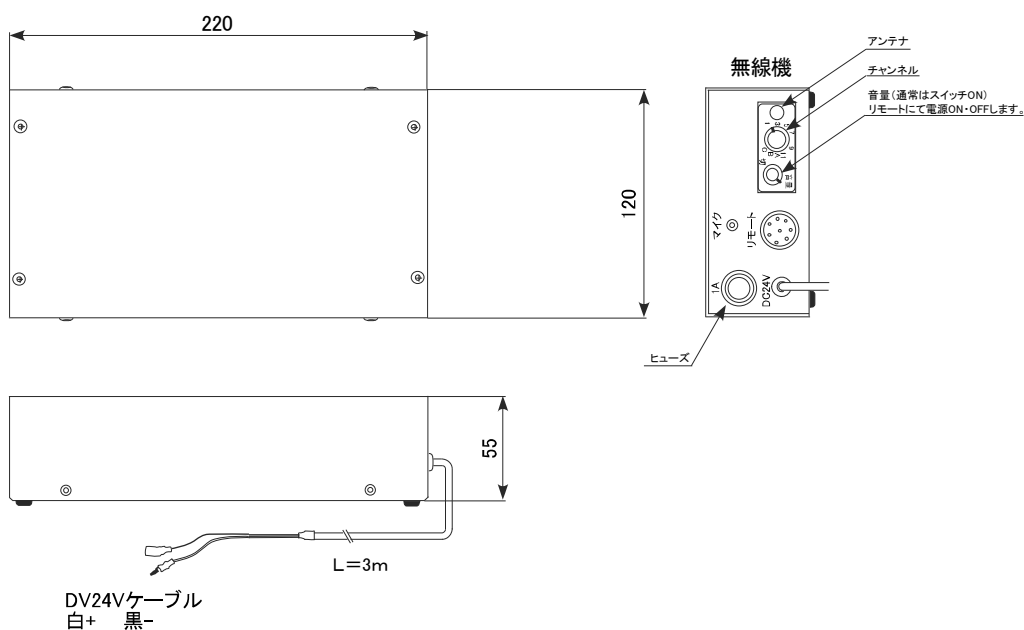
### 3 【仕様】

送信機	無線機	つまみ 11 (内部のコードを切り替えて 20) チャンネル 10mW
	外形寸法	220 (H) ×120 (D) ×55 (W)
	重量 送信部	1.4Kg
	連続使用時間	電源オン時
	塗装	オレンジイエロー
	制御方式	FSK
	消費電流	最大 0.2A
	電源	DC24V (18V~36V)
操作部	収録済	3メッセージ
	BGM	1 収録済みのメッセージのうち1つ又は2つをBGMに変更可能
	マイク入録	音声
	外形寸法	35 (H) ×80 (D) ×120 (W)
	重量	300g
フック	音声出力	最大 5W
	連続使用	約 2 日※
	待受け時間	約 45 時間
	塗装色	オレンジイエロー
	メッセージ記憶	NO1: 5秒から120秒 NO2: 5秒から120秒
	外形	435 (H) ×120 (D) ×200 (W)
	重量	13Kg バッテリー含む
	取り付け可能フック イヤー径	26φ~30φ
	出力	5W
	電源	バッテリー電圧 12V
	動作電圧	DC約9V~18V
	消費電流	待機時 0.15A 最大出力時 約0.6A
	使用温度	-10度~40度
充電器	重量	1Kg

※音響出力 5W 出力にて 2 分間×40 回/日 動作

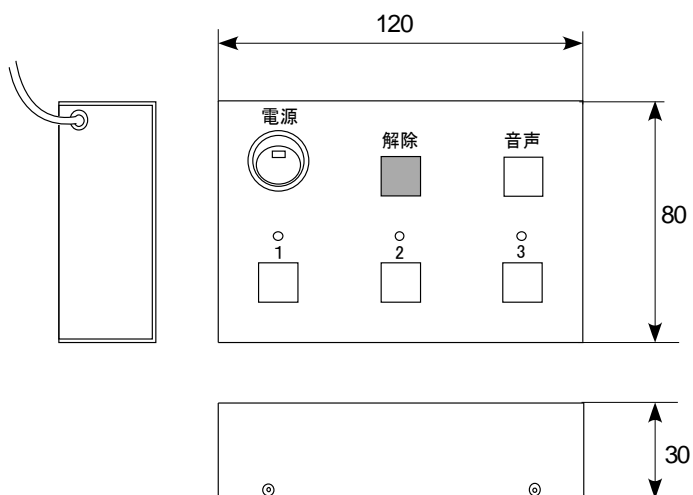
## 4 操作項目と動作

### 4-1 送信機 FRC-110



- ① 操作器と送信機をケーブルで接続し、電源ケーブルを付属の赤黒のシガープラグコードで DC24V に接続します。
  - ② 無線機の音量ボリュームを右に回すと電源が入ります。
  - ③ チャンネルは受信機の無線機と同じに設定します。
- ※ 送信機の取り付け位置は、アンテナが金属の壁や配線などの障害物からできるだけ遠ざけ、インバータなどの機器から離して設置してください。

### 操作器 FCK-110



## 電源スイッチ

左上のシーソースイッチを ON し、通電状態となると緑の LED ランプが点灯します。

## メッセージ選択

NO.1 のスイッチを押下すると、その上の LED が点灯し、NO1 が選択されていることを表示します。

このとき、フック側に NO1 のメッセージを再生する指令が送信されます。

NO1 の繰り返し連続再生時間は5分です。

5分間を経過すると、自動的に解除されますので、必要な場合は再度押下し、更に5分間メッセージの再生を行ってください。

NO.2・NO.3のスイッチを押下すると、NO1 と同様の動作します。

## 音声

このスイッチを押下するとコントロール BOX のマイク入力から入力された音声をフック側に伝えます。

この音声の連続送出時間は2分間です。

## 解除

NO.1 , NO.2 , 音声の操作中のいつでも、このスイッチを押下することで操作を中止します。メッセージが流れていない状態でリモコン BOX の電源 OFF にします。

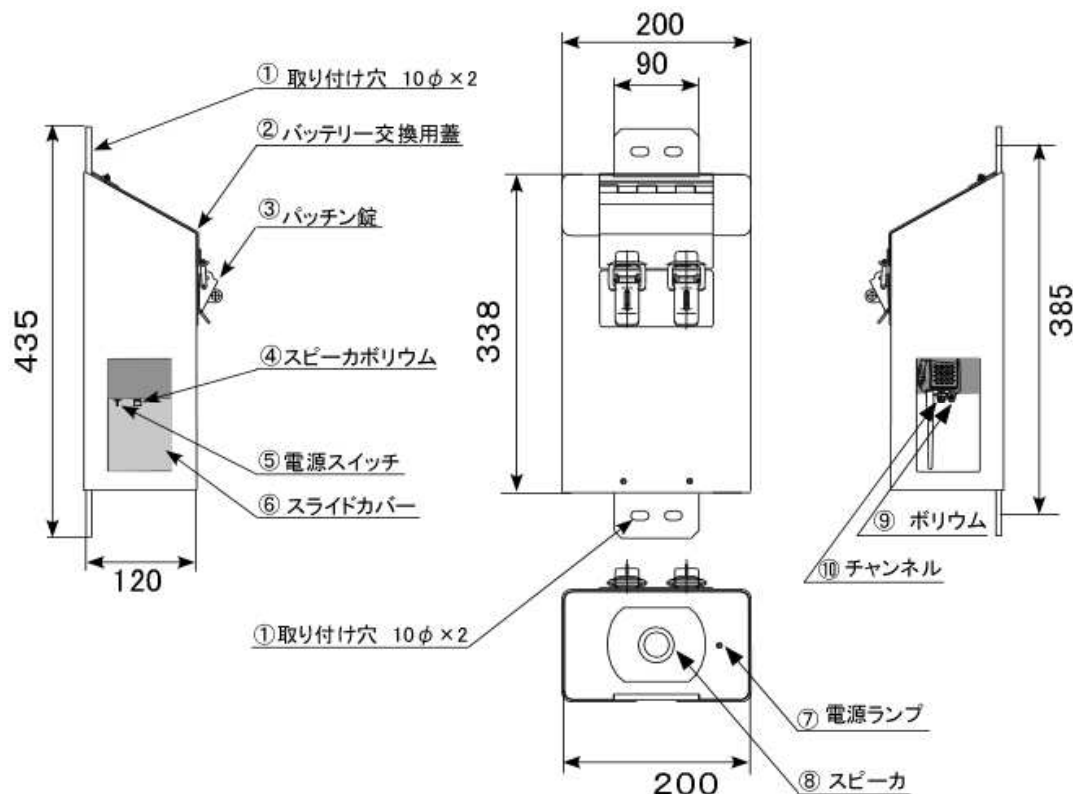
※ NO1,NO2, NO3,音声の動作中にリモコン側の電源を OFF した場合、フック側では約2分間動作を継続し、その後メッセージの出力を停止し、待機状態となります。すぐメッセージを切りたい場合は再度電源をONしますと、終話信号を先に自動的に送出しますので自動的にメッセージが切れます。

## 注意事項

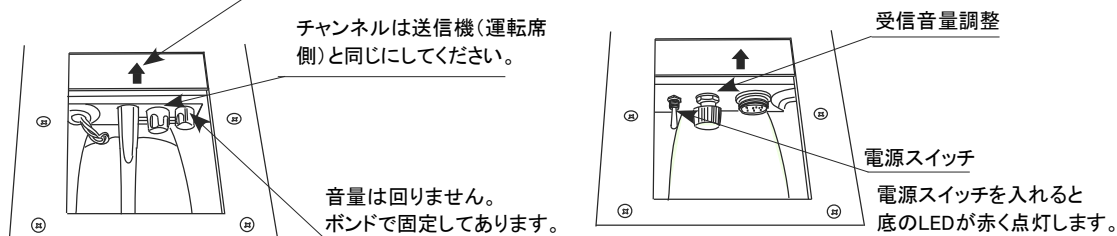
このコントロールの電波は特定小電力の電波を使用しており、電波状況、その他の影響で送信信号が確実に受信側に到達されたことの確認はスピーカからの音量で判りますが、ボタンを押しても送信できない、解除ボタンを押しても解除できないことがあります。これは特定小電力の特性で他の無線機が同じチャンネルで送信中は待機することになっており送信できないことがあります。ただし操作機は送信の変更や解除は出来るためにランプが消えていても（無線機は動作していない状態）スピーカから音が出っぱなしになることがあります。

電気街や市街地、工場や電波塔などの電磁波（電子機器・インバータノイズ含む）の影響で無線機が正常に動作しないことがあります。

## 4-2 フックコール TFC-110



スライドカバーを矢印方向にずらしてください。  
上まで上げすぎると下に下げにくくなります。



### 機器取り扱い

- ① 受信機本体を U ボルトで上下 2 箇所をワイヤーに固定します。最大 38φ W ナットまたは緩み止めナットで締めて下さい。  
立て抗内などの壁に取り付けの場合は 4 本の 9.5φ のボルトで固定します。  
据え置きで使用の場合は、バインド線などで固定してください。
- ② バッテリー交換用蓋  
バッテリーのコードを挟まないよう注意しながら取り替えてください。  
ショートさせると機器本体の故障や火災の危険があります。
- ③ バッテリー交換用カバーはパッチン錠で締め、鍵穴にバインド線などで開かないように固定してください。

- ④ スピーカ出力ボリューム
- ⑤ 受信機の電源用スイッチです。
- ⑥ スライドカバーの下側を押しながら上にスライドします。
- ⑦ 電源スイッチ ON で赤ランプが点灯
- ⑧ 操作器の 1 と 2 のボタンを押すと音が出る。
- ⑨ 無線機のボリュームは 11 時ごろに設定してください。

音を大きくすると歪み、小さすぎると送信機からの信号を受けにくくなりますので、工場出荷時のボリューム位置は変更しないでください。

- ⑩ チャンネルは送信機のチャンネルと同じに設定して下さい。

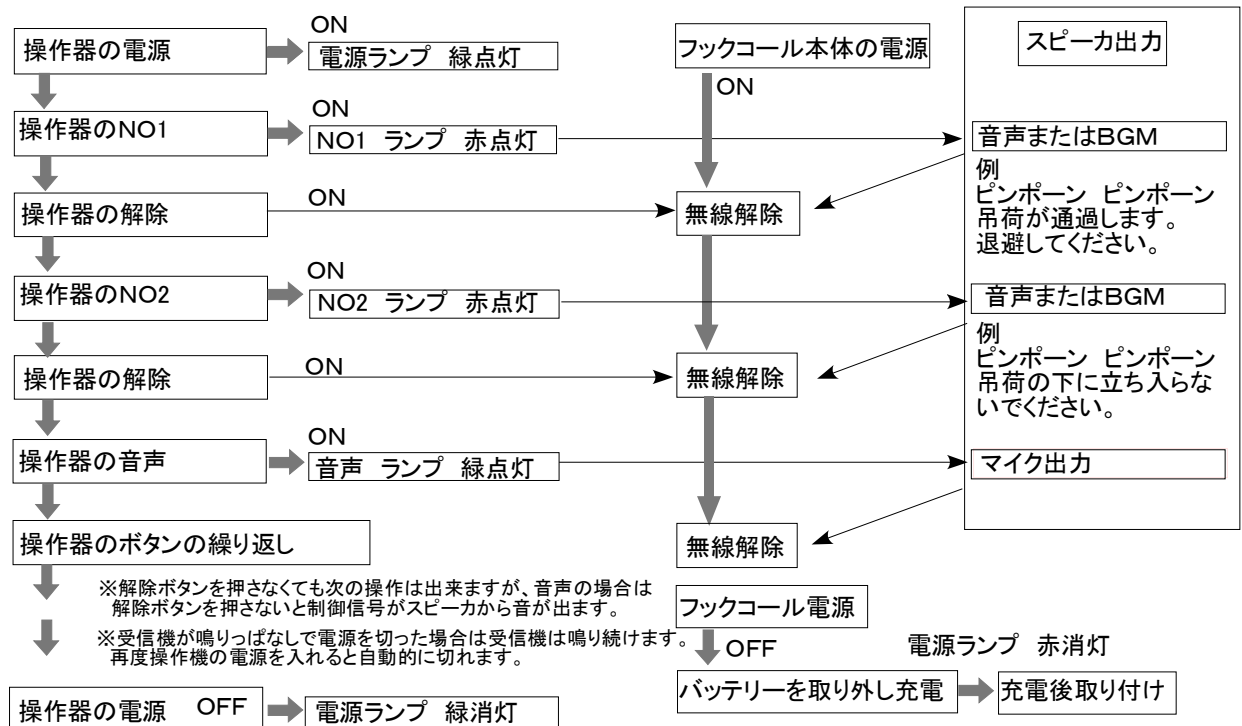
#### 4-3 動作説明 動作フローチャート

オペレーター側

無線機の電源をONにしてから送信機・操作器の機器が接続されていることを確認してから下記の操作を行ってください

クレーンフック側

取扱説明書の手順に従い取付け後に再チェックをしてから下記の操作を行ってください



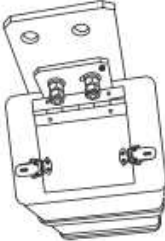

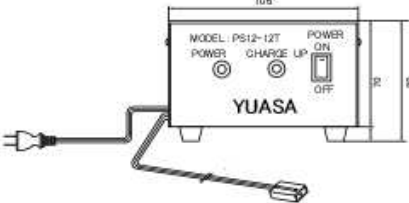
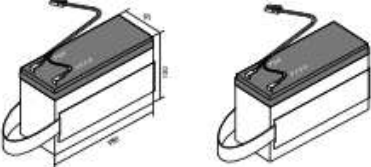
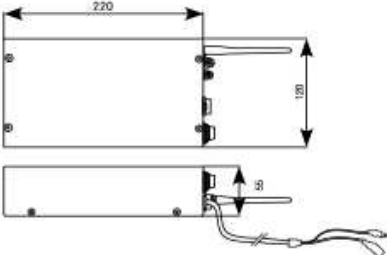
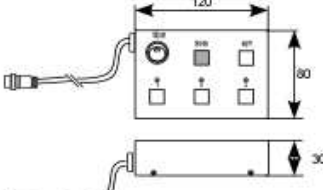



使用しないとき（夜間など）は受信機の電源は切ってください。

バッテリーの放電が速くなり、翌日に使用できないときがあります。

受信機にスイッチが入っていると誤動作することが可能性としてあります。



## 5 機器構成

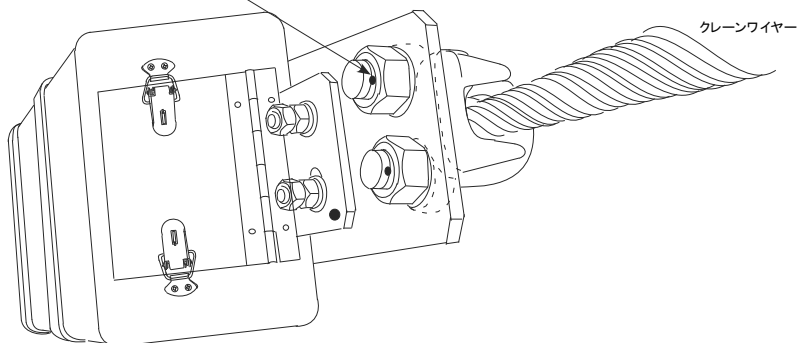
受信部	<p>TFC-110 フックコール本体</p> 	<p>F26-27 Uボルト</p> 	
	<p>PS12-12T 充電器</p> 	<p>NP7-12 バッテリー 2個</p> 	
送信部	<p>FRC-110 リモート コントロール</p> 	<p>FCK-110 コントロールキー</p> 	<p>フレキシブルマイク</p> 
	<p>DC-212 DCコード</p> 		<p>DV24Vケーブル 白+ 黒-</p> 

取扱い説明書

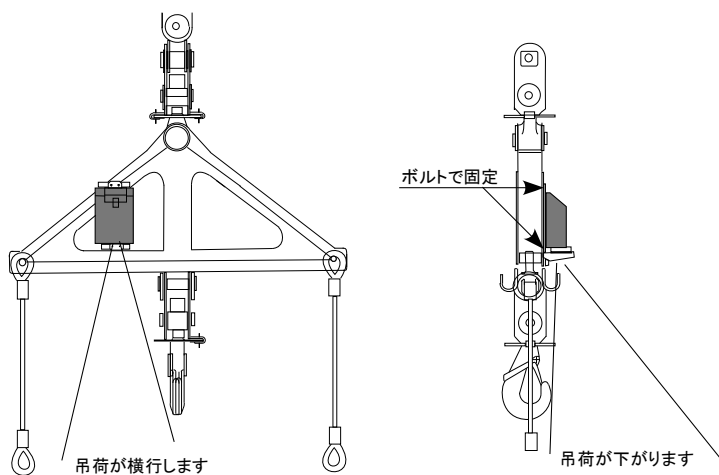
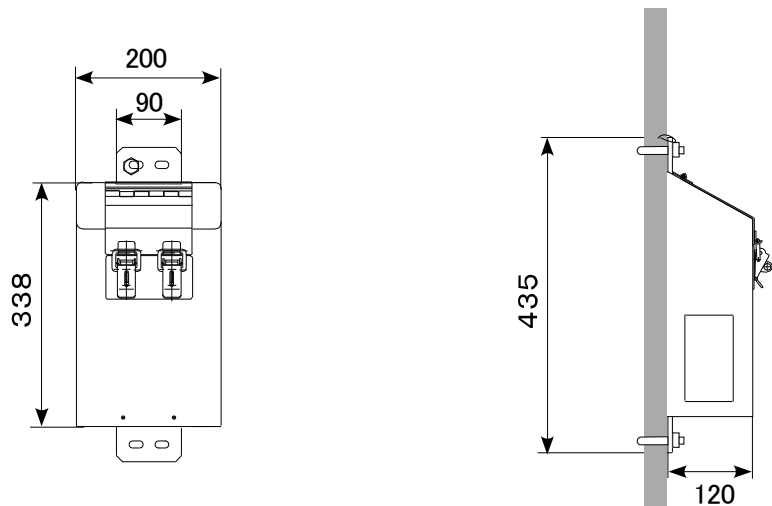
添付されていないもの Uボルト・ボルト・ナット

## 5 取り付け

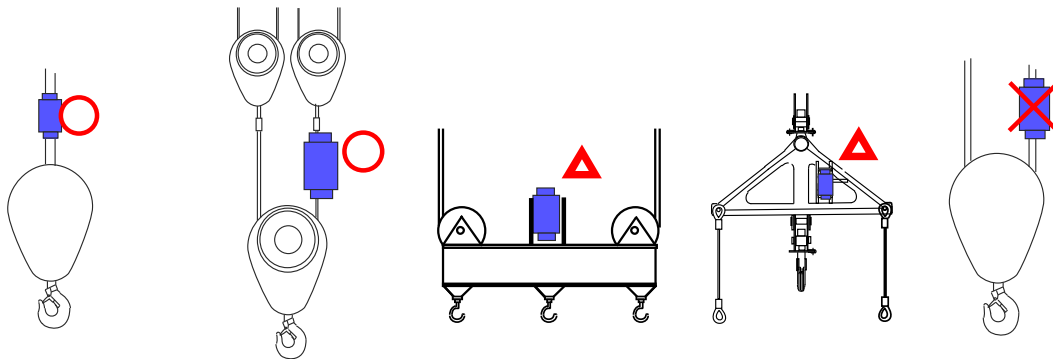
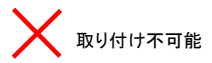
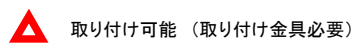
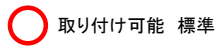
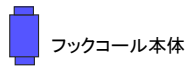
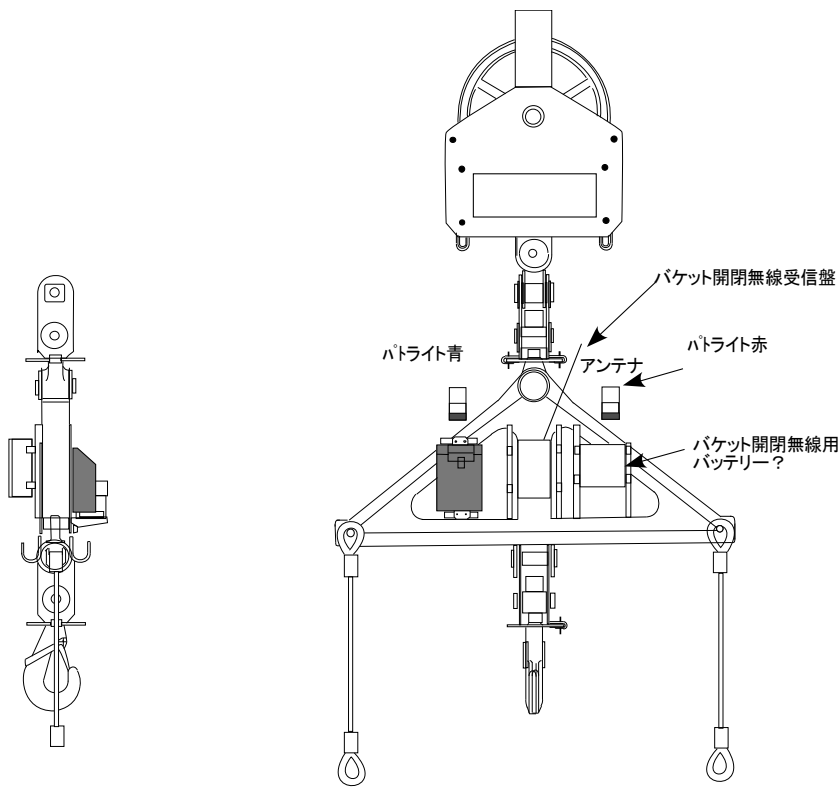
スプリングワッシャを入れナットはそれぞれバランス良く締めてください。  
ねじ山が均等に出るように締めて下さい。  
ナットの落下防止のためにボルトの穴にバインド線で止めてください。



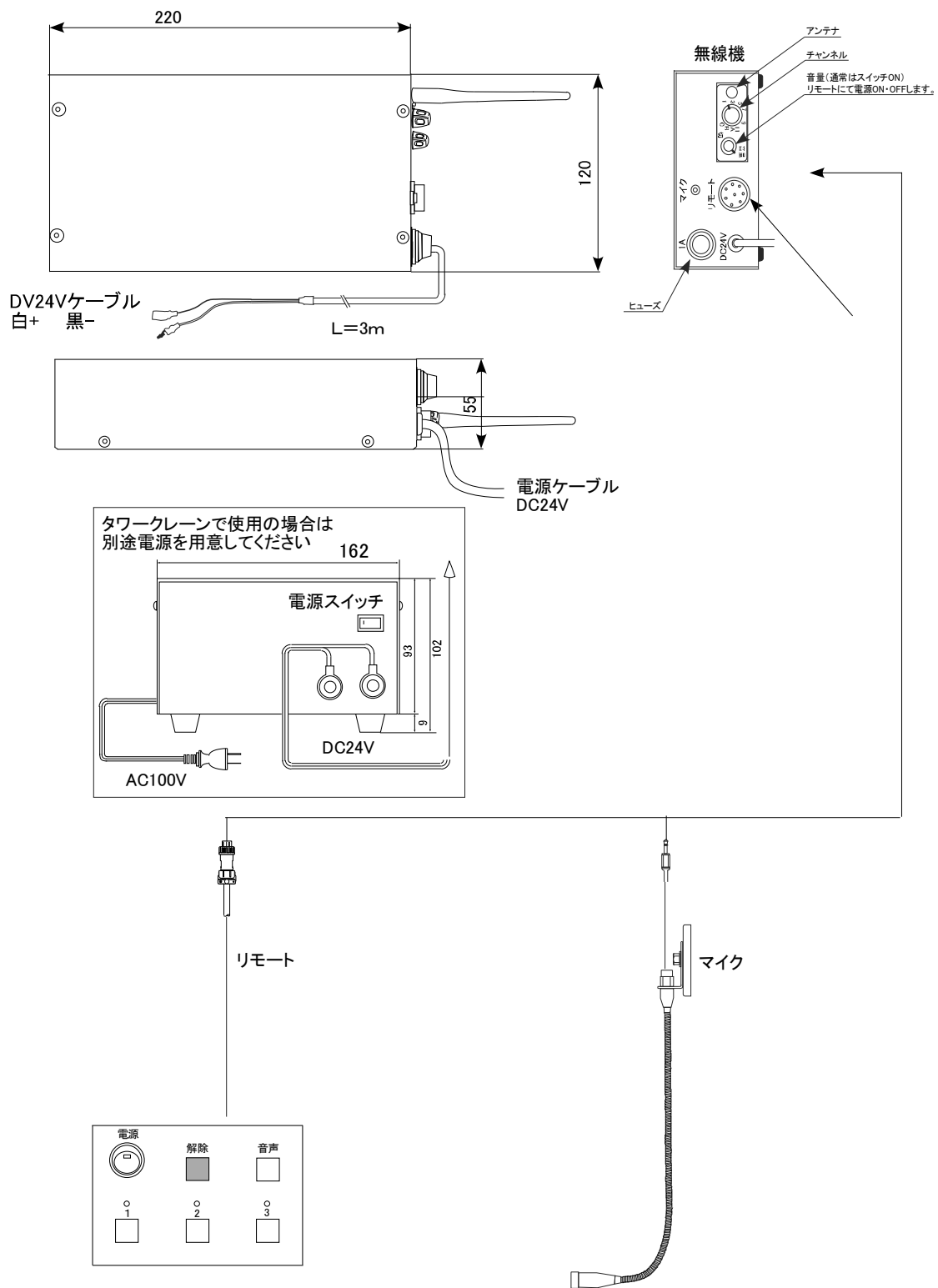
ケーブルクレーンのフックや 立抗に取り付ける場合の取り付け寸法図



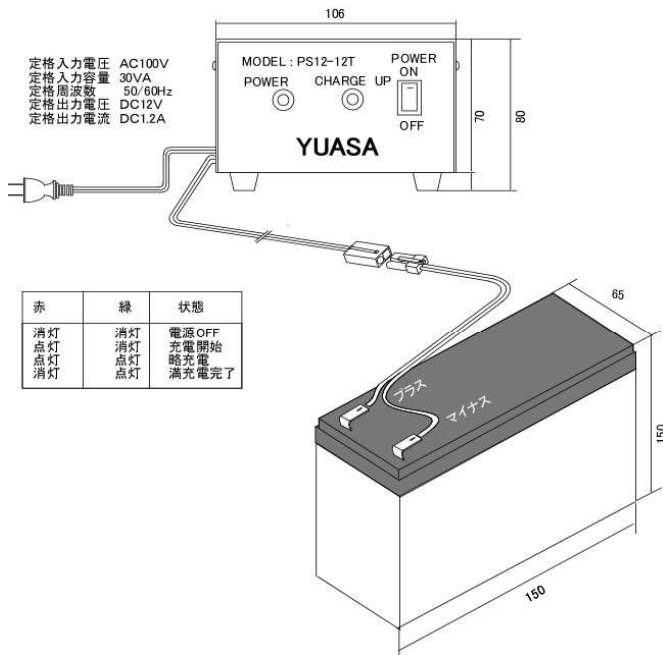
ケーブルクレーン用に改造し取り付けした事例  
外部スピーカ・長時間対応外部バッテリー



## 6-1 配線

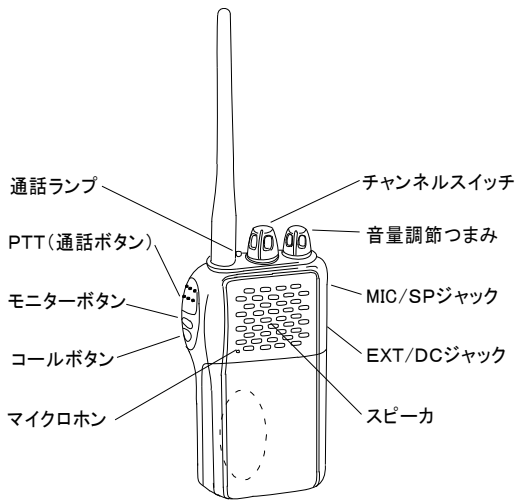


## 7 充電 (満充電 赤 消灯 緑 点灯)



## 8 無線機

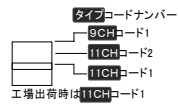
フックコールと送信機は同じ



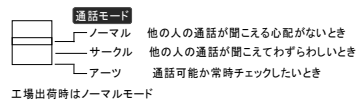
### PK310D20CH FTH105

工場出荷時のままで変更しなくても使用できますので通常選信などが発生したときはチャンネルスイッチで他が使用していないチャンネルで使用します

コードナンバーを切り替えるには電源を切り電池ケースのふたを開けて電池を取り出しケース内部のタイプを希望するモードに切り替えます。



通話モードを切り替えるには電源を切り電池ケースのふたを開けて電池を取り出しケース内部の通話モードを希望するモードに切り替えます。



送受信周波数	: 11チャンネル: 422.0500MHz~422.175MHz
電波形式	: F3E
通信方式	: 単信及び半複信方式
送信出力	: 10mW以下(特定小電力無線 免許不要)
受信感度	: 17dBμ以下
動作温度	: -10°C~+50°C
定格電圧	: DC4.5V
動作電圧	: DC3.2V~6.6V
本体寸法	: 54×106(198 含むアンテナ)×25mm
本体重量	: 170g

購入日 年 月 日

購入日より1年間無償保証

販売店

製造元 東京通信機株式会社

〒170-0011 東京都豊島区池袋本町3-16-10

東京 TEL 03-3980-2727

大阪 TEL 06-6427-7066